

TOSO

80010063

電動ローマンシェード

リベルタ65-E 静音

取扱説明書 No. N - 150013

初版

取扱説明書（保証書付き）

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。
安全にご使用いただくために良くお読みいただき、大切に保管してください。

販売店様・施工業者様へのお願い

本書は、お客様が本製品を適切にご使用いただくための説明・注意事項が記載されております。**必ずお客様にお渡しください。**

目次

■ 安全上のご注意	2
■ 製品全体図及び部品名称	4
■ 製品の取付け/取外し方法	7
■ 配線方法	13
■ 結線方法	17
■ 作動確認	23
■ 上限/下限位置の設定方法	25
■ メンテナンスシール	28
■ “故障かな”と思ったら	29
■ 製品仕様	30
■ お手入れ方法	30
■ 梱包材の処理方法	30
■ 製品保証書	31

トソー株式会社

◎お客様相談室 tel. 03-3552-1002

本社 〒104-0033 東京都中央区新川1-4-9 ホームページアドレス <http://www.toso.co.jp>

安全上のご注意(必ずお守りください)

※本書は、お買い上げいただいた製品を安全にご使用していただくために特に注意していただくことを表示してあります。取付け前に必ずお読みいただき、適切な取扱いをお願い致します。

- 本書では、表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる、危険や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

製品の取扱いを誤った場合、死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度を示しています。



注意

製品の取扱いを誤った場合、傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度を示しています。

- 本書では、お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し説明しています。



製品の取扱いにおいて、その行為を「禁止」する図記号です。



製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を「強制」する図記号です。

■取付け上のご注意（取付け前に必ずお読みください）



警告

- 付属の取付けネジは、木部用です。木部以外には使用しないでください。
- ❗ 本製品を取付ける下地の強度や材質を確認し、施工してください。下地の強度が不足すると落下の原因になります。
- ❗ 取扱説明書に記載されているブラケット取付け数量と取付け位置は必ずお守りください。本体が落下する恐れがあります。



注意

- 本製品は屋内用です。屋外へは取付けしないでください。
- 高温多湿の条件下や水に濡れることが予想される場所へは取付けしないでください。
- ❗ 製品は、水平に取付けてください。



■使用上のご注意（ご使用前に必ずお読みください）



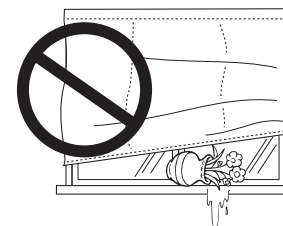
警告

- 製品に物を吊り下げたり、ぶらさがらないでください。製品が破損したり、落下する恐れがあります。
- 本製品の電源は、AC100Vです。それ以外の電源は使用しないでください。
- 本製品は当社指定のスイッチに対応しています。それ以外のスイッチは使用しないでください。
- 電源コード・電源プラグを破損するようなことはしないでください。傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。
- 電源プラグのほこり等は定期的にとってください。プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。
- めれた手で電源プラグの抜き差しはしないでください。感電の原因になります。



注意

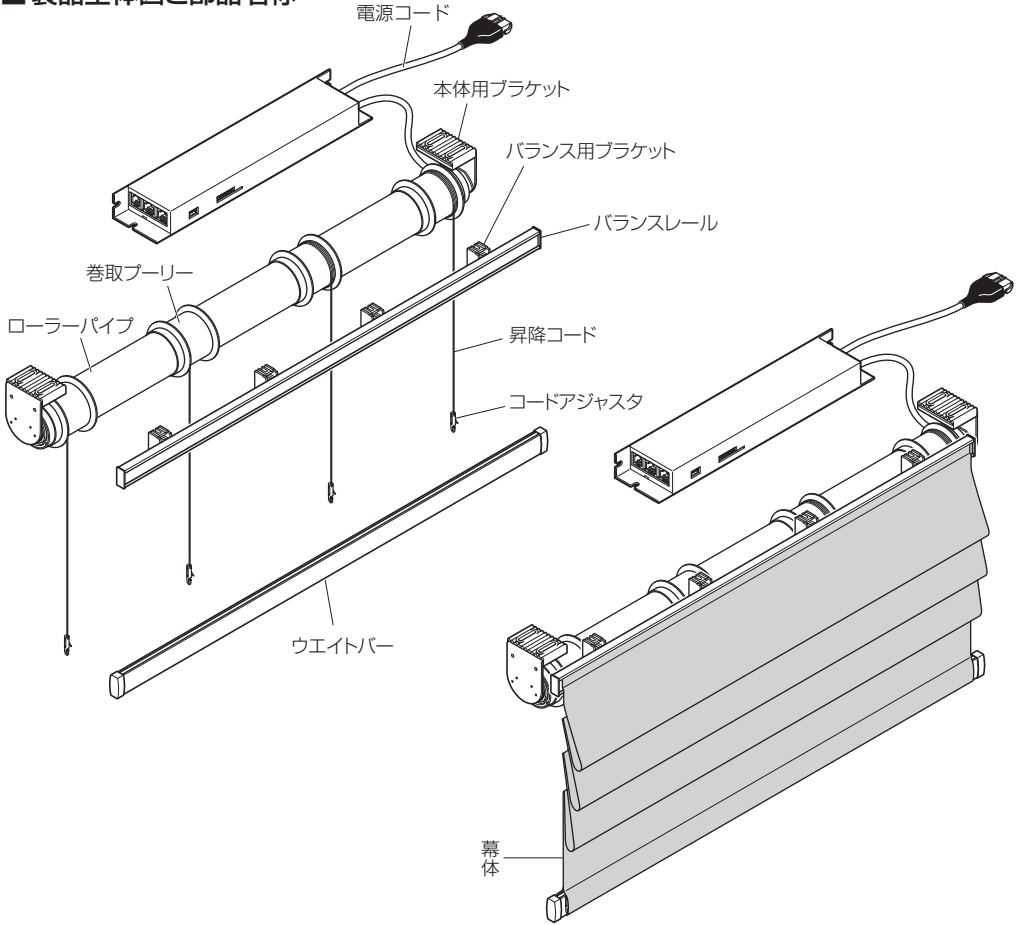
- 強風のときや雨の時は、必ず窓を閉めるかスクリーンを巻き上げた状態にして下さい。
- メカ部の分解や稼動部への注油は破損や故障の原因となりますので絶対におやめください。
- 製品本体を分解しないで下さい。破損や故障の原因となります。
- 火のそばでのご使用は絶対におやめください。



- 昇降（開閉）動作の範囲内に破損の恐れがあるものや操作の障害となるものを置かないでください。

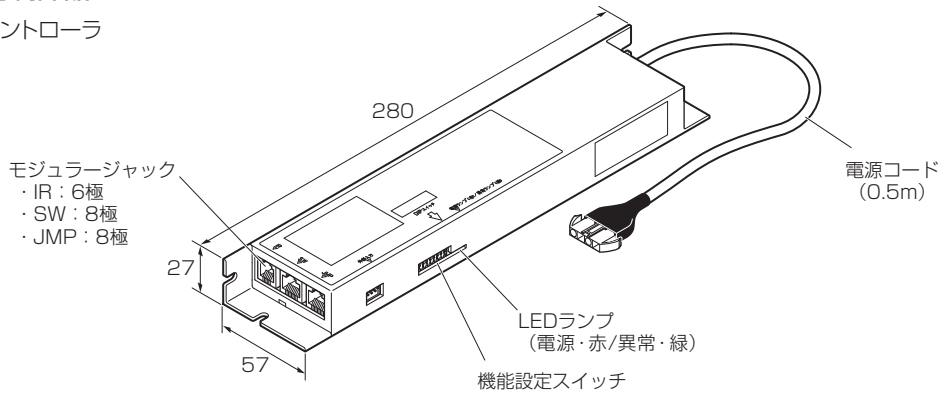
製品全体図及び部品名称

製品全体図と部品名称



付属部品

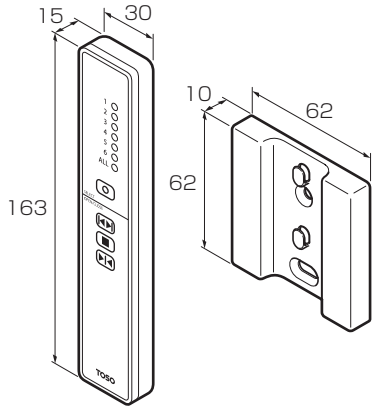
コントローラ



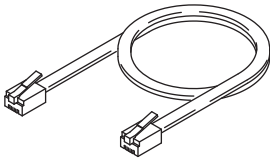
部品名	本体用ブラケット	中間サポート用 ブラケット	ブラケット取付けネジ (ナベφ4.0×30)	フルール用ブラケット	バランス用取付けネジ (ナベφ3.5×20)
製品幅 (mm)					
800～3000	2個	—	8本	8本	8本
3010～3600	2個	1個	12本	12本	12本

オプション部品(別売)

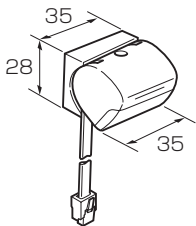
FMリモコン送信機 2.4G



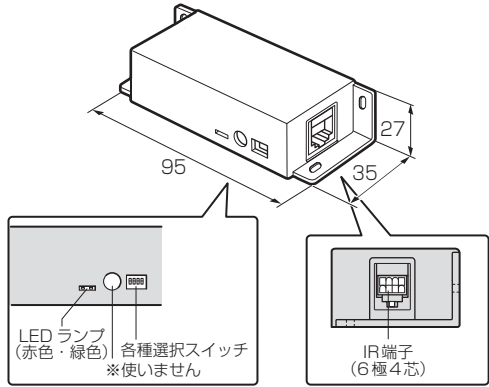
モジュラーコード(1m)(6極)



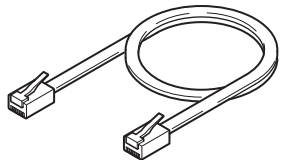
リモコン受光部01



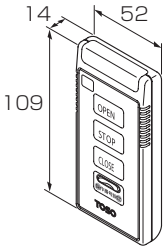
FMリモコン受信機 2.4G-IR



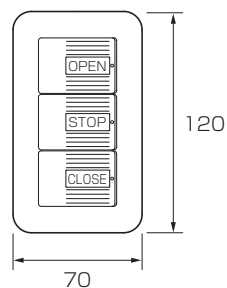
LANコード (1m)



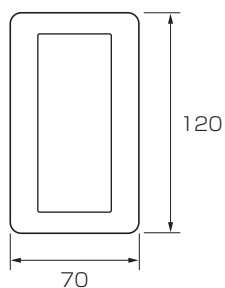
リモコン送信機01N



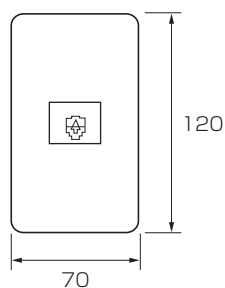
● 3つボタンスイッチ



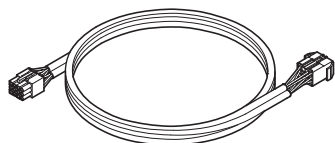
● ワイドスイッチプレート



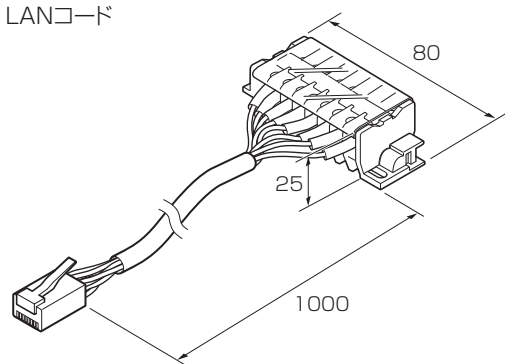
● モジュラープレート1個用(8極)



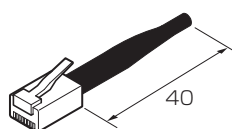
● コントローラ中継ハーネス 10m



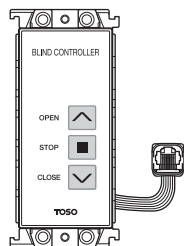
● 端子台付スイッチハーネス
LANコード



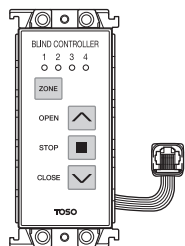
● 終端抵抗付モジュラープラグ



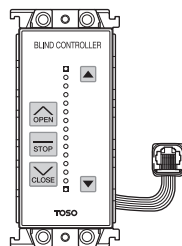
● NシングルスイッチRB用



● マルチゾーンスイッチRB用

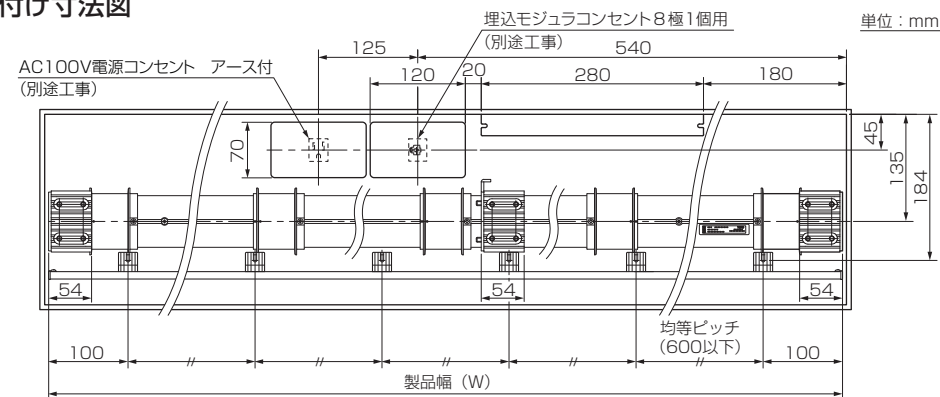


● ゾーンスイッチRB用



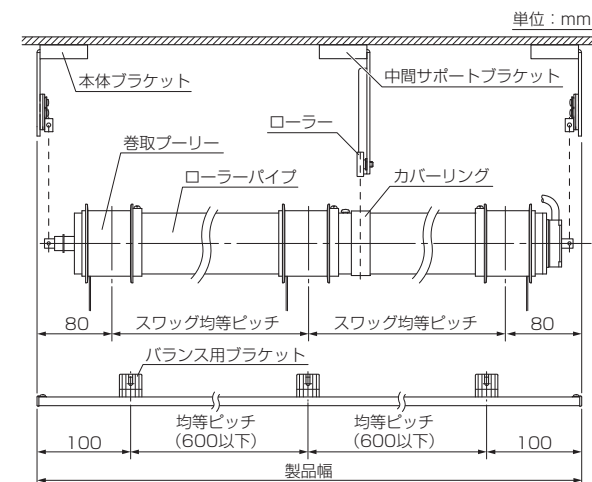
製品の取付け/取外し方法

取付け寸法図



取付け方法

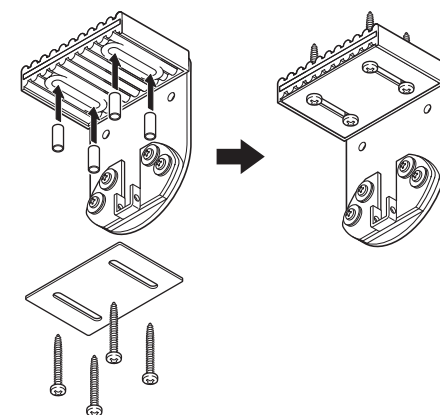
- ① 製品本体の取付け位置
- ブラケット間の寸法が、ご発注いただいた製品幅と同じになるように、ブラケットの取付け位置を決めてください。



- ② 本体用ブラケットの取付け
- 付属のスペーサーを長穴に4箇所挿入の上、取付けネジでブラケットを取付けてください。
- 中間サポートブラケットの場合は、ローラーパイプに設置されたカバリングの位置を確認し、本体用ブラケットと同様に取付けてください。

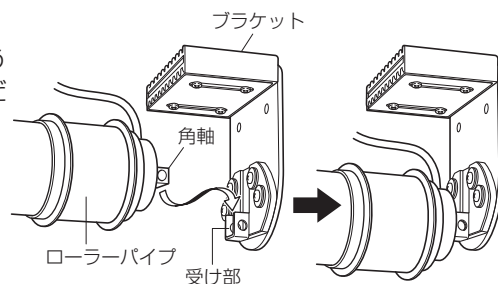
⚠ 注意

- ❗ ブラケット 1 個に対して取付けネジを必ず 4 本以上使用して取付けてください。
- 🚫 正面付けはしないでください。製品が落下する恐れがあります。

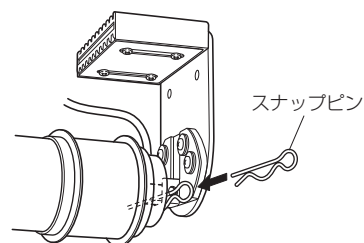


③ ローラーパイプの取付け

- ローラーパイプ端部の角軸を正面に向くように調整し、ブラケットの受け部に挿入してください。

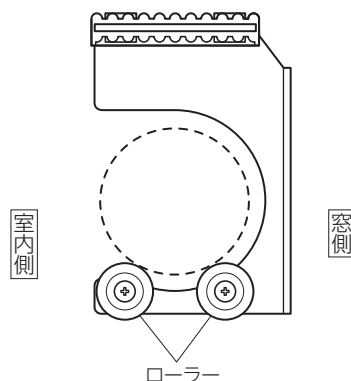


その後、付属のスナップピンにてブラケット受け部、角軸の穴に通すように固定してください。



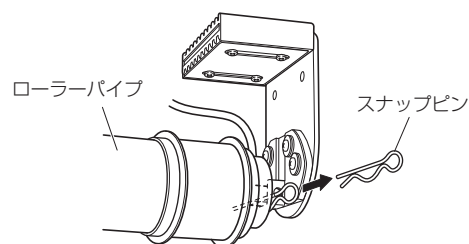
⚠ 注意

- ❗ ローラーパイプから出ているモーターコントロールローラー接続ケーブルが必ず後ろになるように取付けてください。
- ❗ ローラーパイプをブラケットに確実に固定してください。確実に固定されていないと落下の原因となります。
- ❗ ローラーパイプに設置されたカバーリングに中間サポートブラケットのローラーの両方が接していることを確認してください。
両方のローラーに接していない場合は、中間サポートブラケットの位置を微調整をしてください。



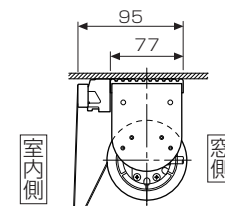
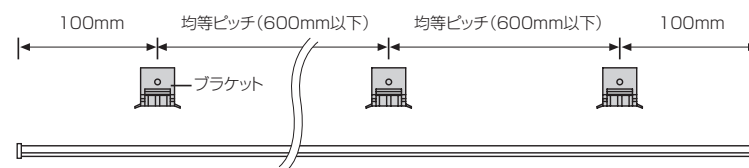
④ 製品の取外し方法

- ローラーパイプを支えながら、スナップピンを抜いてください。ローラーパイプを上を持ち上げながら、取り外してください。



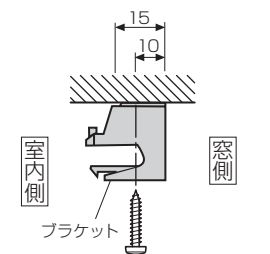
⑤ バランスレールの取付け位置

- バランス用ブラケットを3個以上使用する時は、なるべく等間隔になるように取付けてください。



⑥ バランス用ブラケットの取付け方法

- バランス用ブラケットを付属のブラケット取付けネジで取付けてください。



⑦ バランスレールをブラケットに取付けます。

- ① バランスレールをブラケット上部に引掛けてください。
- ② バランスレールをカチッと音がするまで奥側に押し込んでください。

⚠ 注意

- ❗ ドライバーの先端でケガをしないようにご注意ください。

〈取付け方〉 バランスレール ブラケット

- ① 仮止めフックに引掛ける
 - ② 奥に押す
- 昇降コードはこの位置に収めてください。

〈取外し方〉

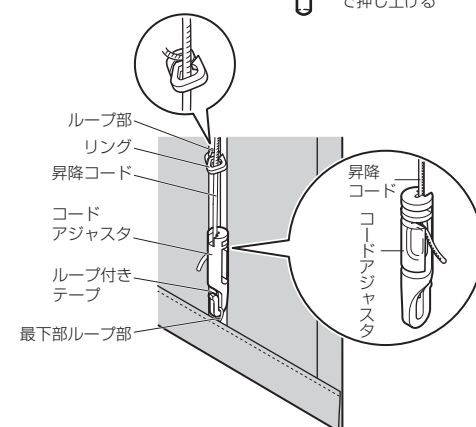
- ② 手前に引いて外す
- ① ブラケットの下部の凹部をドライバー等で押し上げる

⑧ 結線を行ってください。

- 結線につきましては、P.13 ~ P.22「配線方法・結線方法」を参照してください。

⑨ 幕体を取付けてください。

- ① バランスレールのマジックテープへ幕体を取付けてください。
- ② 幕体裏面のリング全てに昇降コードを通して、最後にコードアジャスタに取付けてください。
- ③ もし、昇降コードがリングに通っていなかったり、ねじれている場合は、「幕体の外し方」を参照して直してください。



⑩ 作動確認を行ってください。

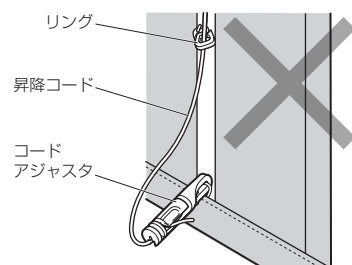
● 作動方法につきましては、P.23「作動確認」を参照してください。

① スwitchのOPEN(上昇)、STOP(停止)、CLOSE(下降)を押して、確実に動くかどうか確認してください。

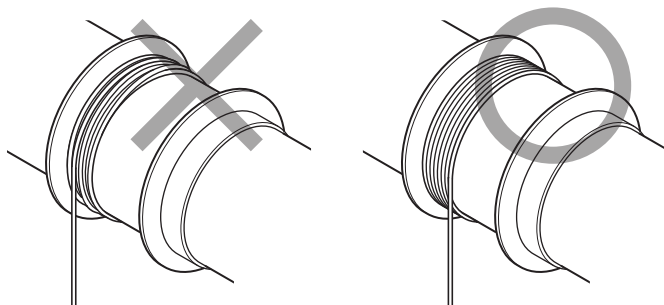
② 「動かない」等の場合は、P.29「故障かな」と思ったら」を参照してください。

注意

- ！ 昇降コードのテンションの張り具合を確認ください。
全ての昇降コードをコードアジャスタに結んだ後、昇降コードのテンションが均一に張っているかを確認ください。



- ！ 動作確認時、全開動作後に巻取プーリーに巻かれる昇降コードの状態を確認ください。
昇降コード同士が乗り上げ、多重巻き状態になっている場合、上記の確認とともに、巻取プーリーの位置を修正してください。



- ！ 巻取プーリーに昇降コードが綺麗に巻かれない状態は、幕体の片上がりの原因となります。
また、上昇動作の際に、ローラーパイプに昇降コードが接触し、パチッと異音を発することがあります。

- ！ 昇降コードは経時変化である程度伸びます。定期的なメンテナンスをご計画ください。

■ リンクジョイント仕様の場合

- ① リンクジョイントブラケットの取付け位置
- リンクジョイントブラケットの取付け位置を確認し、ブラケットの取付け位置を決めてください。

注意

- ！ リンクジョイントブラケットの取付け位置は、スワッグ数により異なります。
スワッグ数 偶数(昇降コード 奇数本)、もしくはスワッグ数 奇数(昇降コード 偶数本)のどちらかをお確かめください。

- ② リンクジョイントブラケットの取付け方法

- 付属のスペーサーを長穴に4箇所挿入の上、取付けネジでブラケットを取付けてください。

注意

- ！ ブラケット1個に対して取付けネジを必ず4本以上使用して取付けてください。
- ⊘ 正面付けはしないでください。
製品が落下する恐れがあります。

- ③ リンクジョイント部の設置方法

- リンクジョイントが挿入されているローラーパイプと、挿入されていないローラーパイプを付属の固定ネジで固定してください。

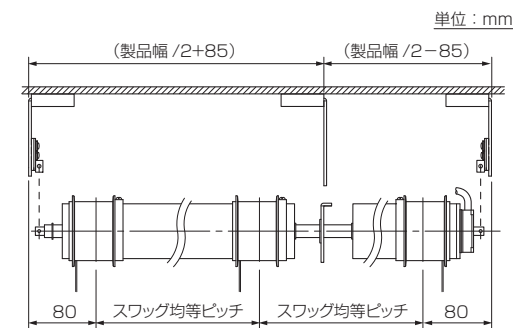
① 挿入されていないローラーパイプの側面にある4つの穴と、リンクジョイントの挿入部分の穴を合わせ、挿入します。

※ 4つの穴と穴が重なっていることを確認してください。

② 付属の固定ネジで4つの穴を締め込みます。

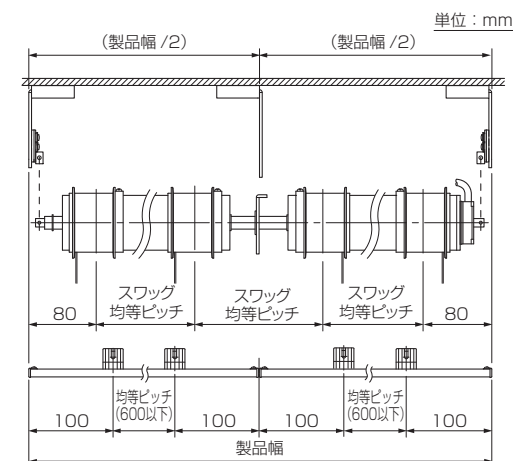
※ 4つのネジを少しずつ締め込み、均等に締め込むようにしてください。

〈スワッグ数 偶数(昇降コード 奇数本)の場合〉

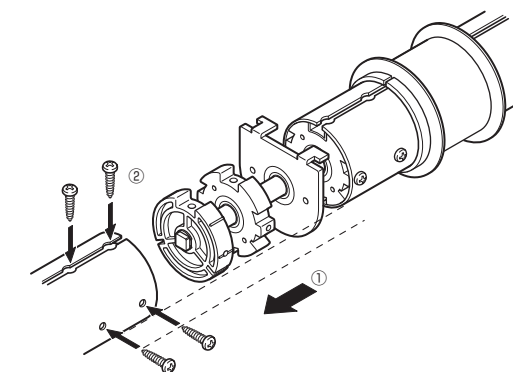


※ 右モーターの場合です。
左モーターの場合は位置関係が逆となります。

〈スワッグ数 奇数(昇降コード 偶数本)の場合〉



※ 右モーターの場合です。
左モーターの場合は位置関係が逆となります。



④ ローラーパイプのリンクジョイントブラケットへの固定方法

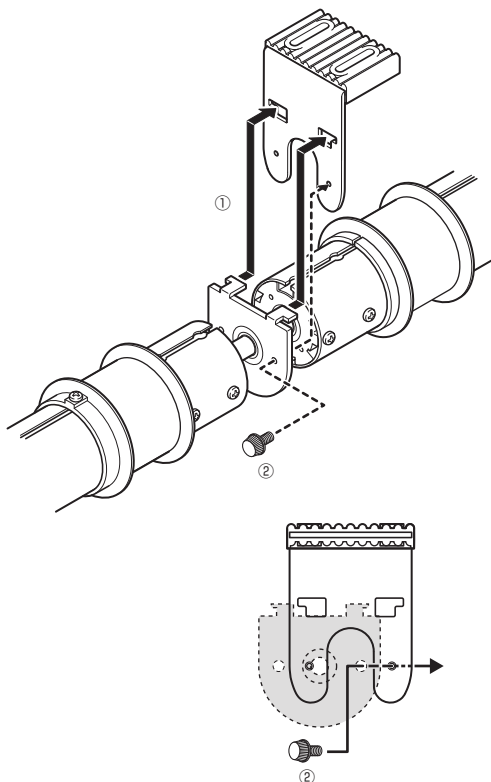
● ローラーパイプをリンクジョイントブラケットへ設置してください。

① 連結されたローラーパイプを持ち、リンクジョイント部の2つの爪をブラケットの2つの穴に差し込んでください。

② 最後に、プラスチック固定ネジで締めてください。

注意

① 連結したローラーパイプを持ち上げる際は、最低2名以上で行ってください。本体用ブラケットと中間サポートブラケットの上下左右のずれは最低±1mm以内としてください。また、連結部の固定ビスの締め込み具合は、定期的に確認するようにしてください。動作時の異音の発生原因となります。



配線方法

注意

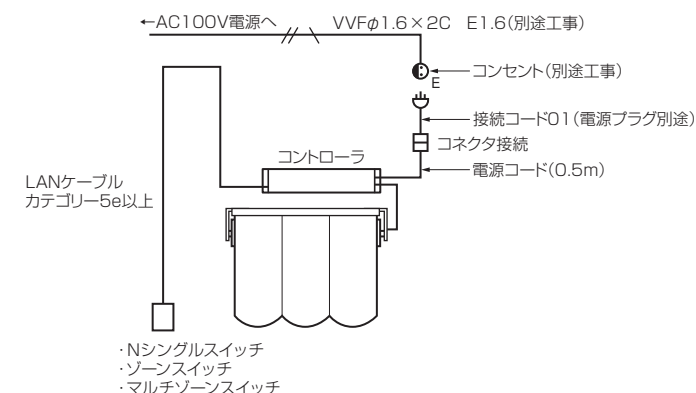
① 電源線・操作線の配線は、弊社営業担当者および電気工事業者と十分な打合せを行ってください。

① 配線、結線工事は電気工事業者へ依頼してください。

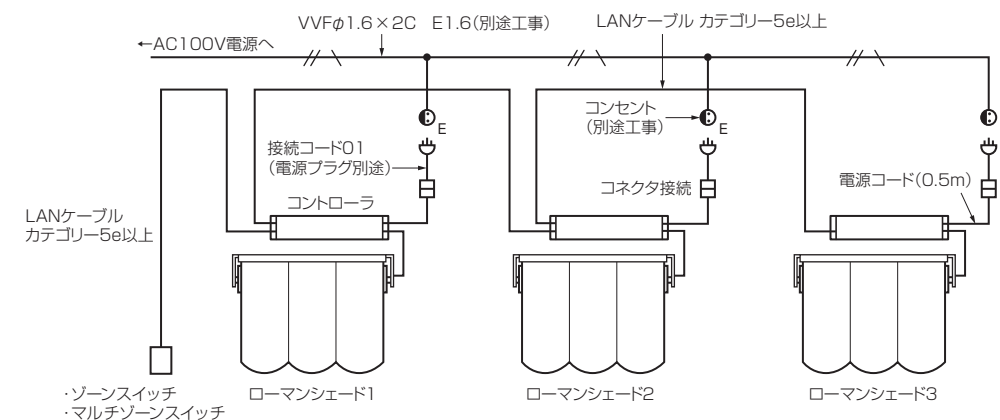
② 結線作業時には、電源を投入しないでください。感電の恐れがあります。

〈Nシングル、ゾーン、マルチゾーンスイッチRB用〉

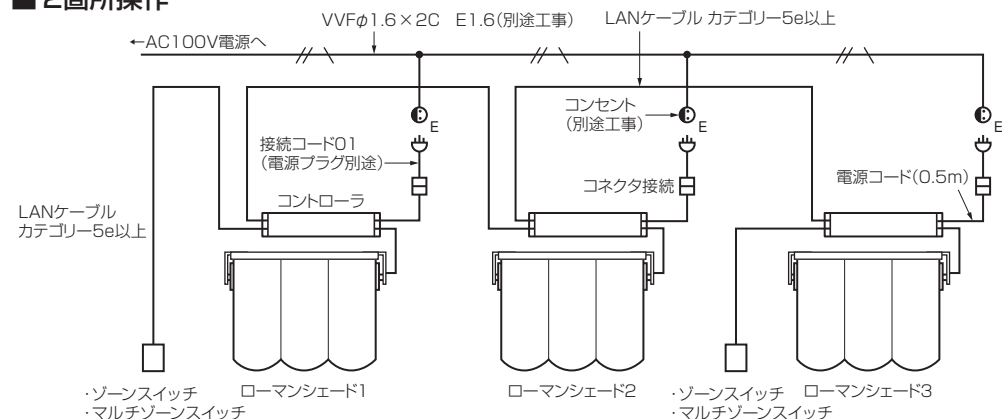
個別操作



同時操作

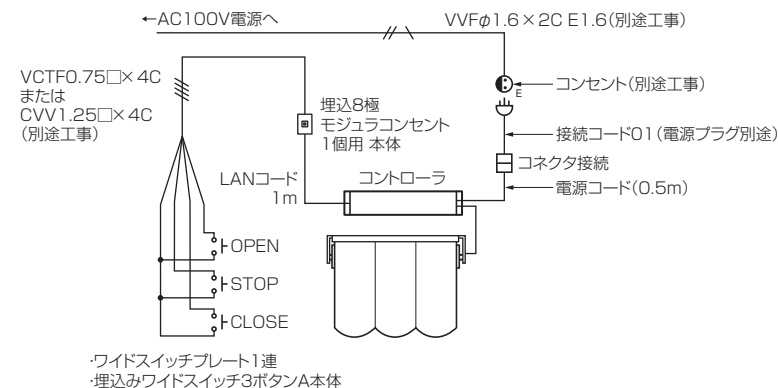


■ 2箇所操作

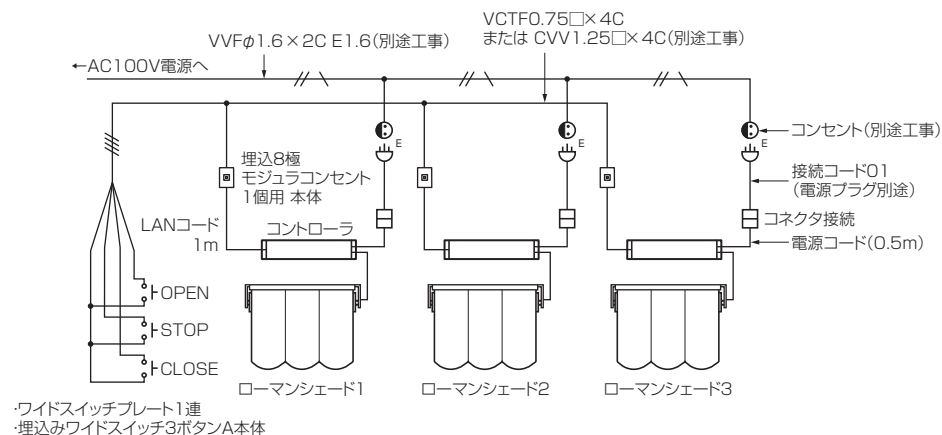


〈3つボタンスイッチ〉

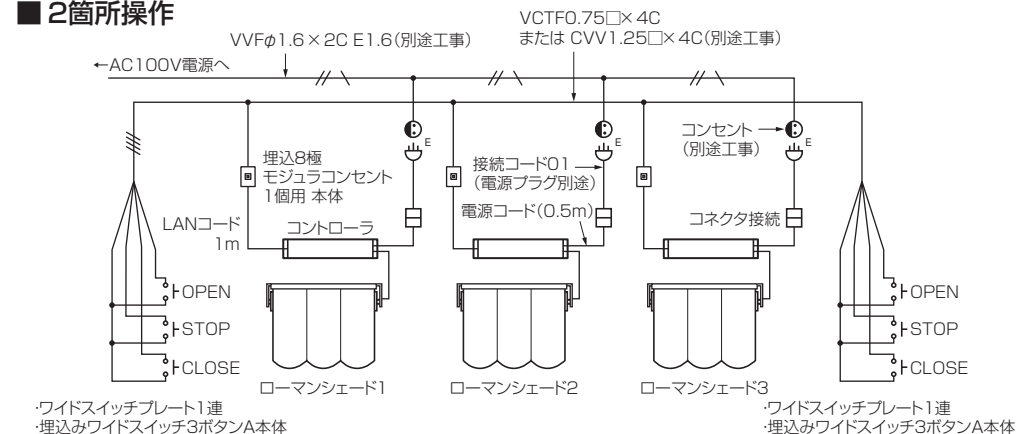
■ 個別操作



■ 同時操作

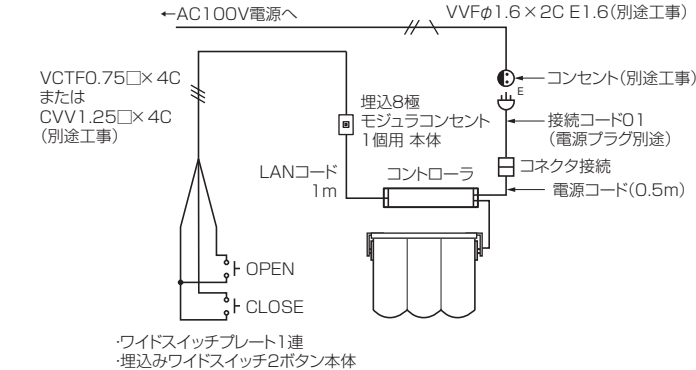


■ 2箇所操作

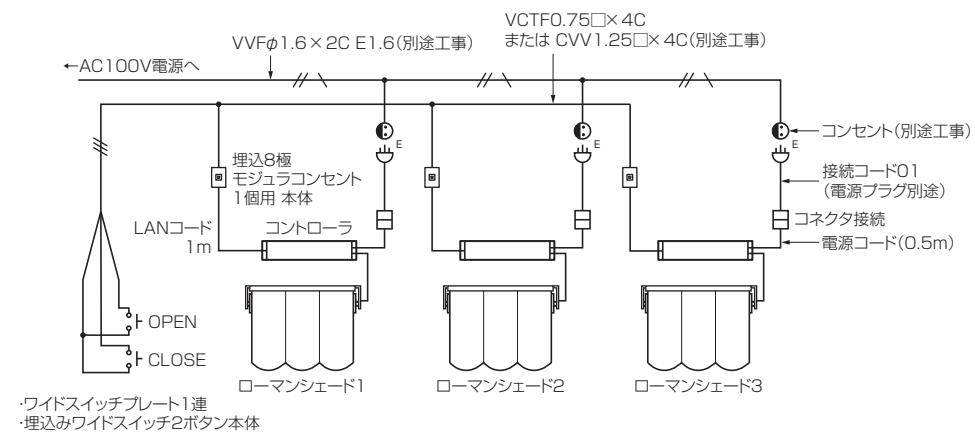


〈2つボタンスイッチ〉

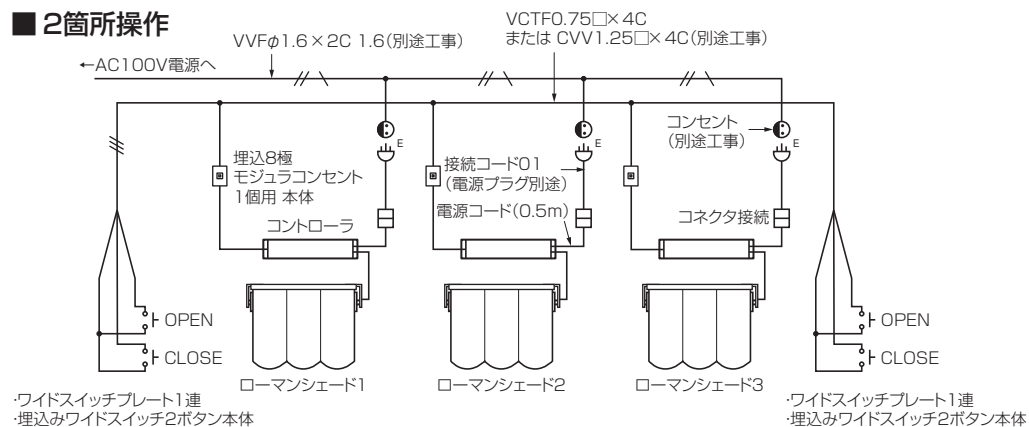
■ 個別操作



■ 同時操作

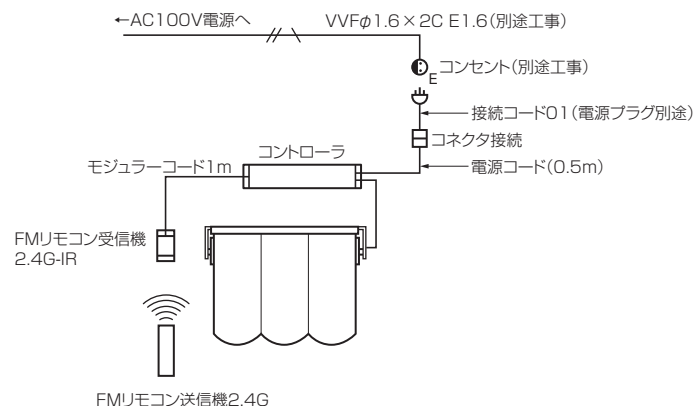


■ 2箇所操作



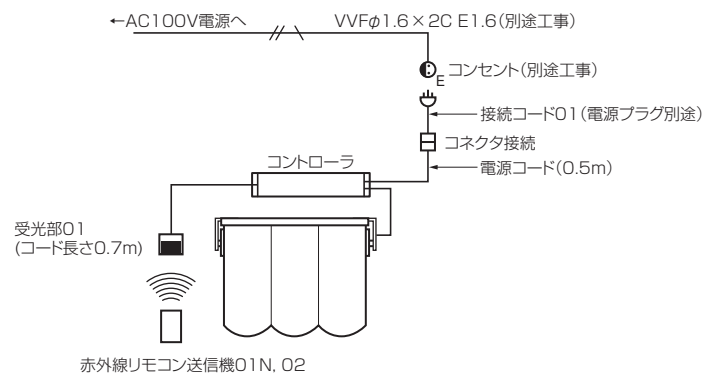
■ FMリモコン操作

※ FMリモコン(電波式遠隔スイッチ)をご使用の際は、専用の取扱説明書をよくお読みください。
 ※ FMリモコンの到達距離は、最大30mです。(使用環境により異なります)



■ 赤外線リモコン操作

※ 赤外線リモコンをご使用の際は、コントローラのアドレス設定が必要です。
 ※ P.27「アドレス設定方法」をご確認の上、アドレス番号を設定ください。



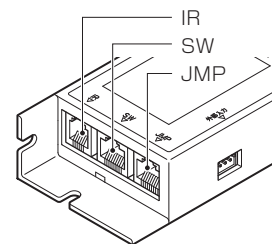
結線方法



注意

- ❗ 電源線・操作線との配線は、弊社営業担当者及び電気工事業者と十分な打合せを行ってください。
- ❗ 結線工事は電気工事業者へ依頼してください。
- ⊘ 結線作業時に電源を投入しないでください。感電の恐れがあります。

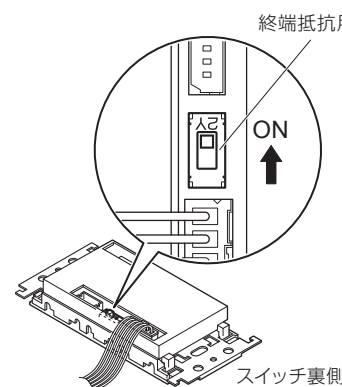
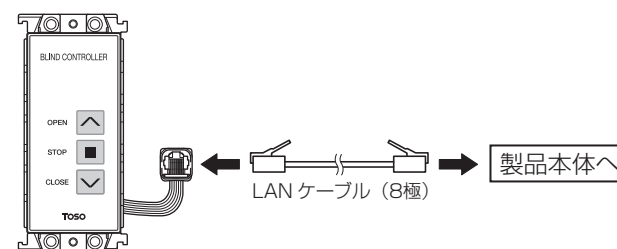
〈製品本体の結線部〉



コントロールユニットに設置されている8極または6極モジュラージャックの用途説明

- IR …… FMリモコン受信機2.4G-IRまたは、赤外線リモコン受光部01の入力用端子
- SW …… スwitchの入力用端子
- JMP …… スwitchの出力用端子(同時操作時に使用)

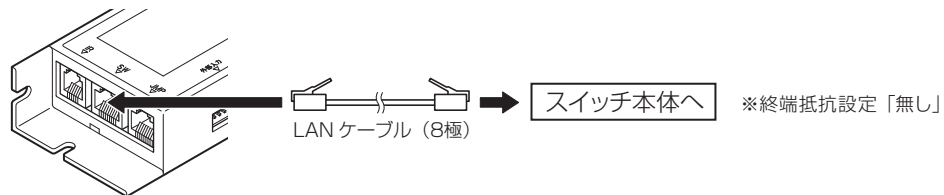
〈スイッチ本体の結線部〉



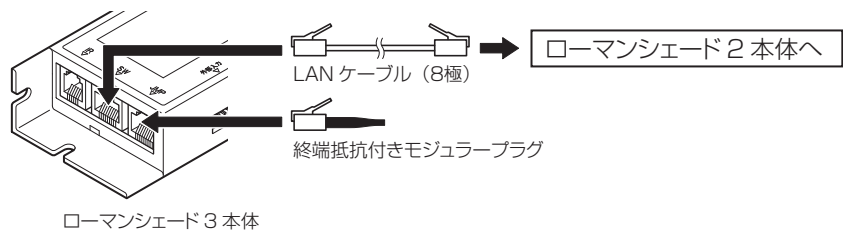
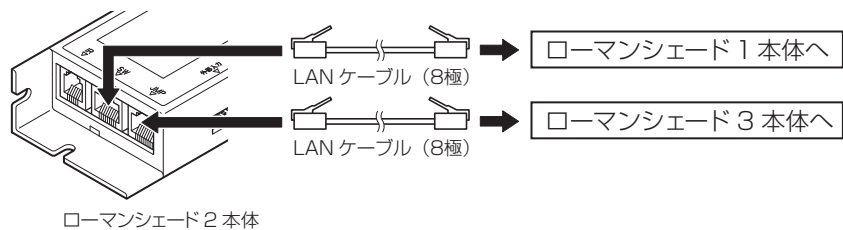
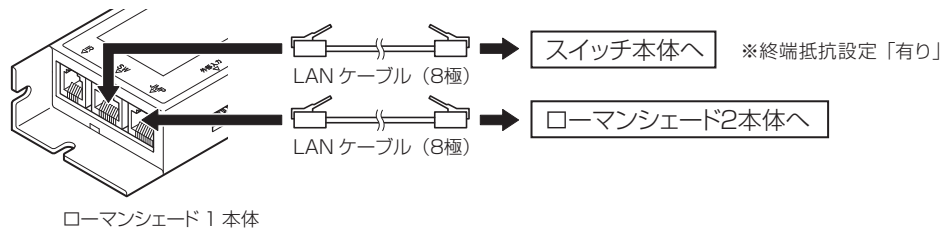
複数台をゾーン操作する場合に、P.19「終端抵抗の設定例」を参照の上、終端設定を行う場合は、DIP スイッチを上方にスライドさせてください。

〈Nシングル、ゾーン、マルチゾーンスイッチRB用〉

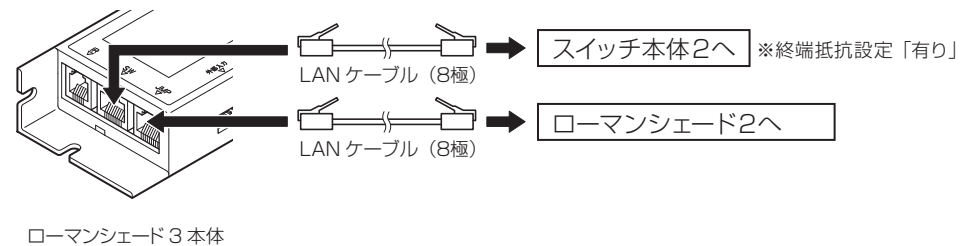
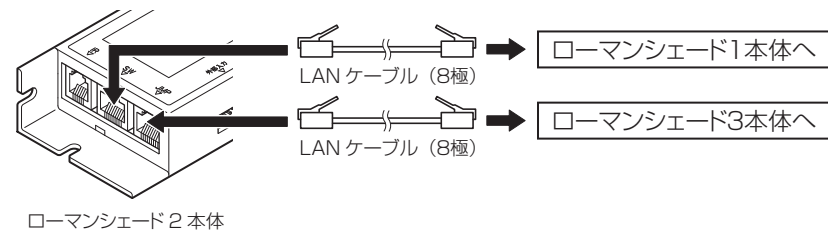
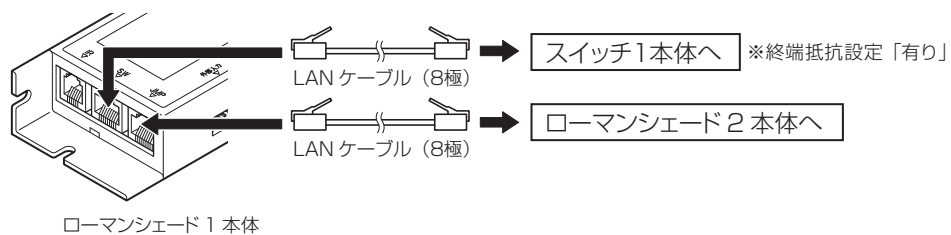
■個別操作



■同時操作

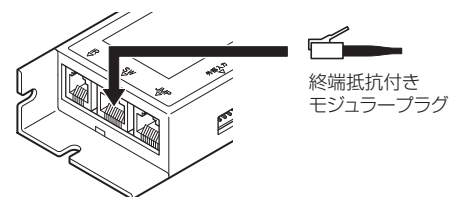


■2箇所操作



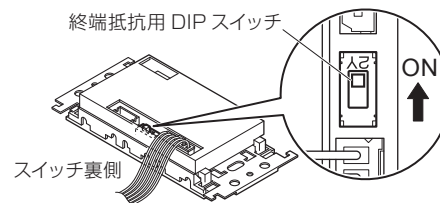
■終端抵抗の設定方法

〈製品本体への終端抵抗の設置〉



●本製品はRS485通信（ツイストペア線）を使用しています。
よって、複数台をゾーン操作する場合には、スイッチ通信ラインの端部に「抵抗」を設置する必要があります。
「抵抗」を入れることで正しい通信が可能となります。

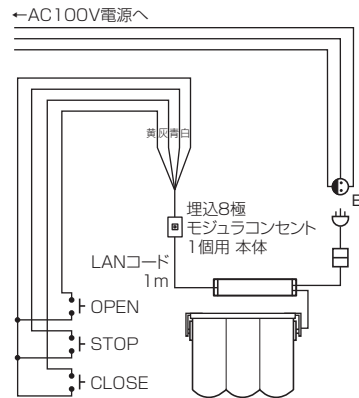
〈スイッチへの終端抵抗の設置〉



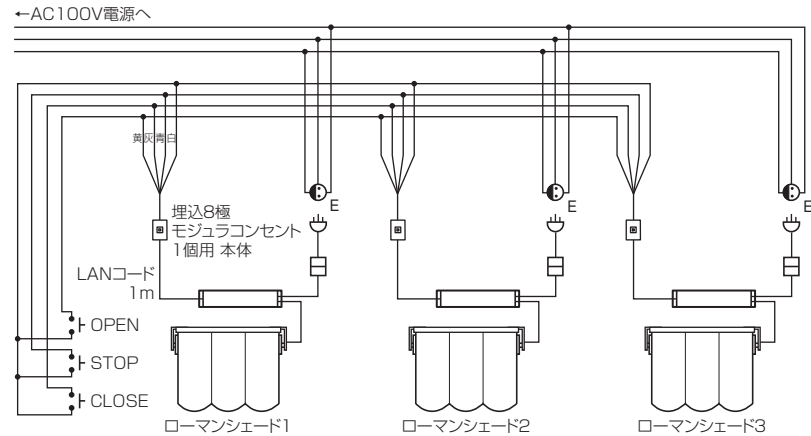
終端設定を行う場合は、DIPスイッチを上方にスライドさせてください。

〈3つボタンスイッチ〉

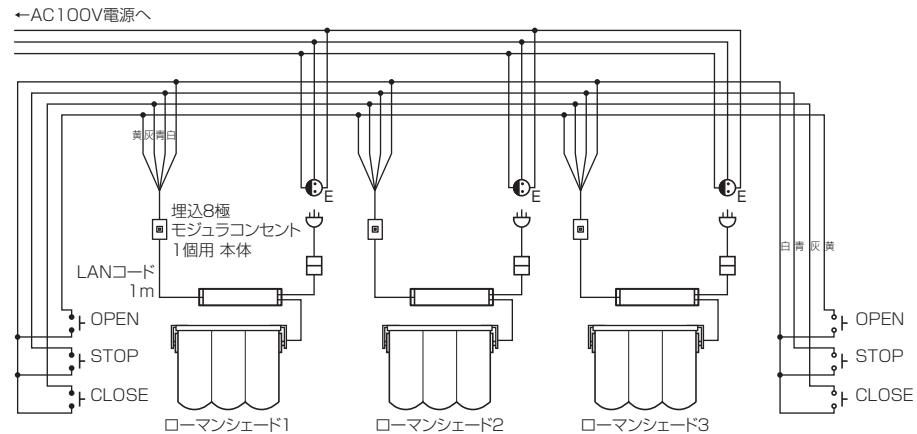
■ 個別操作



■ 同時操作

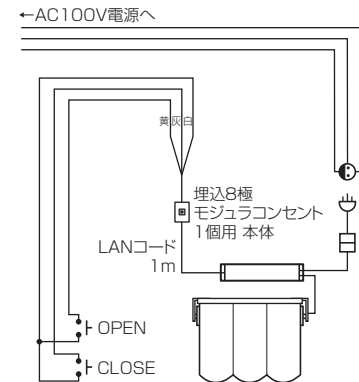


■ 2箇所操作

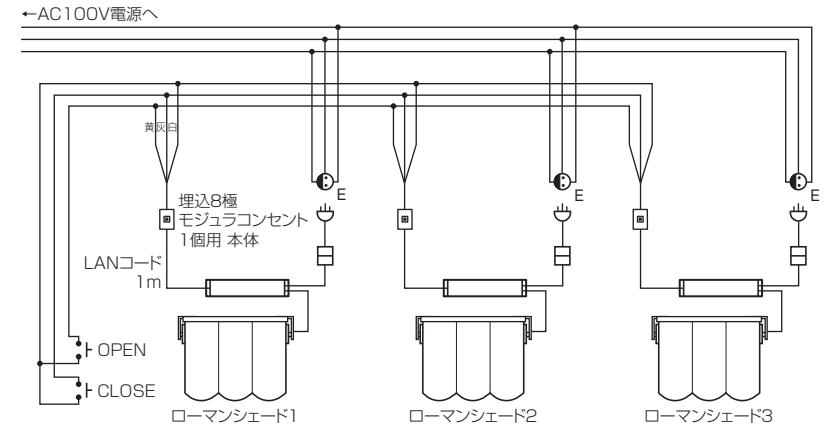


〈2つボタンスイッチ〉

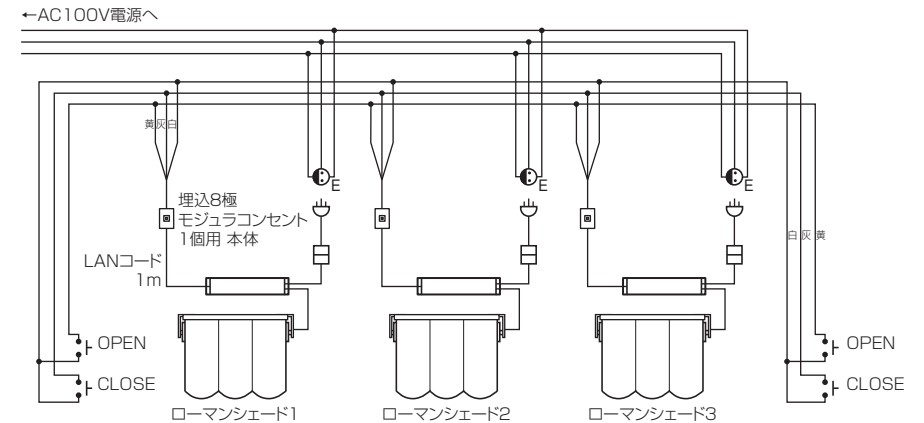
■ 個別操作



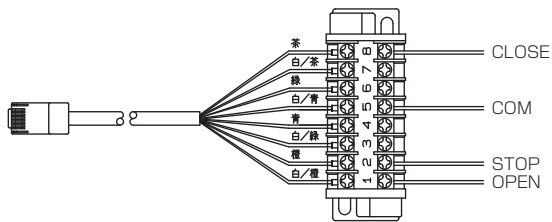
■ 同時操作



■ 2箇所操作

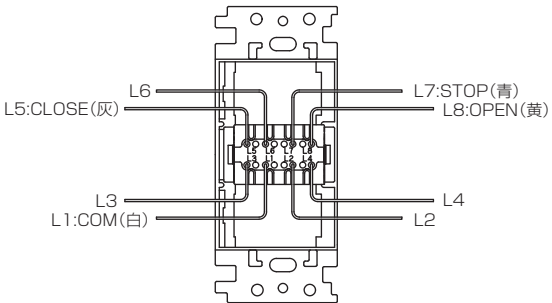


■ 端子台付LANコード 結線詳細



1	OPEN	白/橙
2	STOP	橙
3	FG	白/緑
4	+12V	青
5	COMMON	白/青
6	485(+)	緑
7	485(-)	白/茶
8	CLOSE	茶

■ 埋込8極モジュラーコンセント 結線詳細

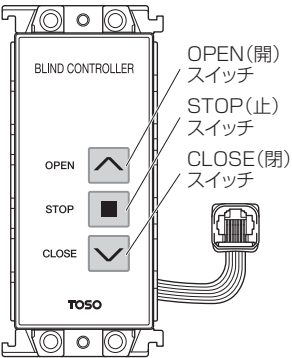


L1	COMMON	白
L2	-	黒
L3	-	赤
L4	-	緑
L5	CLOSE	灰
L6	-	茶
L7	STOP	青
L8	OPEN	黄

作動確認

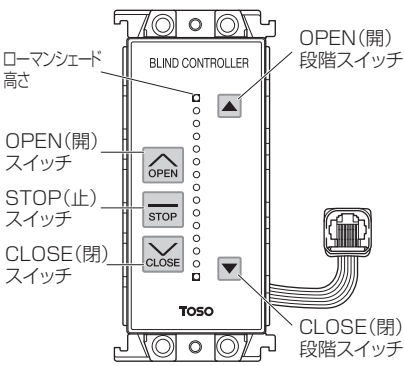
- ① 結線に間違いがないか確認します。
- ② 電源線をコンセントに差し込んでください。
- ③ 各スイッチで操作してください。

〈シングルスイッチの場合〉



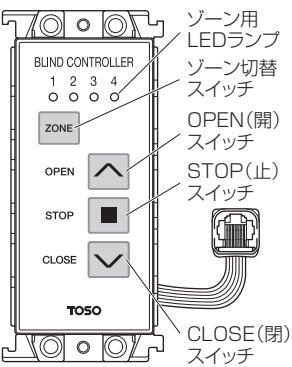
- OPEN(開)スイッチ ... ローマンシェードを開ける(上昇)場合に使用します。
- STOP(止)スイッチ ... ローマンシェードを止める場合に使用します。
- CLOSE(閉)スイッチ ... ローマンシェードを下げる(下降)場合に使用します。

〈ゾーンスイッチの場合〉



- OPEN(開)スイッチ ... ローマンシェード全体を開ける(上昇)場合に使用します。
- STOP(止)スイッチ ... ローマンシェード全体を止める場合に使用します。
- CLOSE(閉)スイッチ ... ローマンシェード全体を下げる(下降)場合に使用します。
- OPEN(開)段階スイッチ ... ローマンシェード全体を1段階ずつ開ける(上昇)場合に使用します。
- CLOSE(閉)段階スイッチ ... ローマンシェード全体を1段階ずつ下げる(下降)場合に使用します。

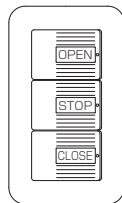
〈マルチゾーンスイッチの場合〉



- OPEN(開)スイッチ ... ローマンシェード全体を開ける(上昇)場合に使用します。
- STOP(止)スイッチ ... ローマンシェード全体を止める場合に使用します。
- CLOSE(閉)スイッチ ... ローマンシェード全体を下げる(下降)場合に使用します。
- ゾーン切替スイッチ ... ゾーン番号を指定するときに使用します。1回押すとLEDが点灯し、更に押すことによりLEDが「1～4」まで順送りで変わります。「1～4」全てのLEDが点灯した場合は全ゾーン一斉となります。

〈3つボタンスイッチの場合〉

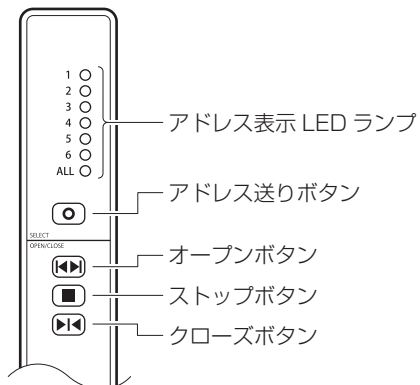
- ① 幕体を上昇させる場合は、**OPEN** ボタンを押してください。
- ② 幕体を途中で停止させる場合は、**STOP** ボタンを押してください。
- ③ 幕体を下降させる場合は、**CLOSE** ボタンを押してください。



〈FMリモコン送信機2.4Gの場合〉

ご使用になる場合は、FMリモコン受信機のアドレス登録を行ってからご使用ください。
詳しくは、FMリモコン送信機2.4Gの取扱説明書をご参照ください。

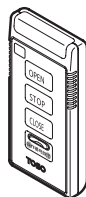
- ① アドレス送りボタンで操作したい電動製品のアドレス表示LEDを点灯させてください。([ALL]を表示させた場合は、受信機に接続された電動製品を全て同時に操作できます。)
 - ② オープンボタンまたは クローズボタンを押すと、電動製品が開閉します。開閉途中で ストップボタンを押すと、止まります。
- ※ 詳しくはFMリモコン送信機2.4Gの取扱説明書をご参照ください。



〈赤外線リモコン送信機01Nの場合〉

ご使用になる場合は、コントローラのアドレス登録を行ってからご使用ください。
詳しくは、P.27をご参照ください。

- ① 幕体を上昇させる場合は、**OPEN** ボタンを押してください。
 - ② 幕体を途中で停止させる場合は、**STOP** ボタンを押してください。
 - ③ 幕体を下降させる場合は、**CLOSE** ボタンを押してください。
- ※ 詳しくは赤外線リモコン送信機01の取扱説明書をご参照ください。



上限/下限位置の設定方法



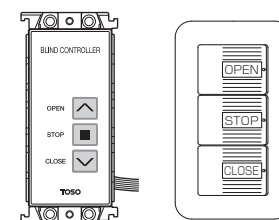
注意

- ① リミット設定はNシングルスイッチRB用、3つボタンスイッチのみ対応可能となっています。
※ FMリモコン送信機2.4G、赤外線リモコン送信機01Nでの設定は出来ません。
- ② リミット設定する際は、隣の製品に配線(操作線)が渡っていないことを確認し、設定を行ってください。
- ③ NシングルスイッチRB用で設定を行う場合、先にコントローラのアドレスを設定してください。(P.27 参照)

- 上下限位置の設定は1台ずつ行ってください。

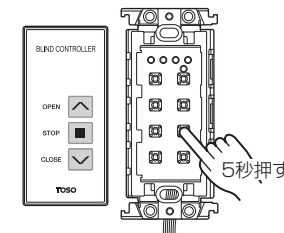
■ 上下限位置の設定

- ① Nシングルスイッチ、3つボタンスイッチのいずれかをを用意してください。



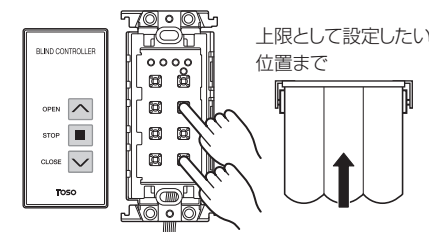
- ② STOPボタンを5秒以上押し続けると、コントロールユニットの電源ランプ(赤)、異常ランプ(緑)が点滅状態となり、リミット設定モードに移行します。

※ リミット設定モード移行後に10秒間入力がない(ボタンを押さない)と通常モードに戻ります。

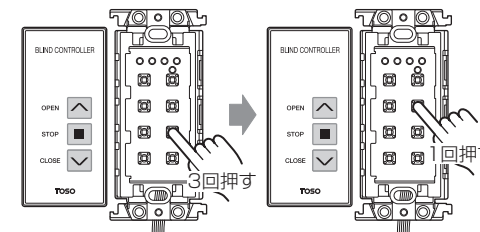


- ③ OPENボタンまたはCLOSEボタンを押して、上限リミットに設定したい位置まで昇降させてください。

※ リミット設定モード中はボタンを押している間のみ昇降します。(動作保持はされません。)

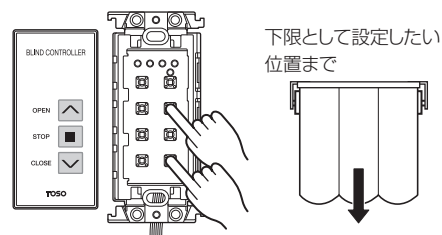


- ④ STOPボタンを3回、OPENボタンを1回押すと、上限リミットが設定されます。設定される際のサインとして、コントロールユニットの電源ランプ(赤)が消灯します。また同時に、下降動作→上昇動作(5cm程度)を行います。

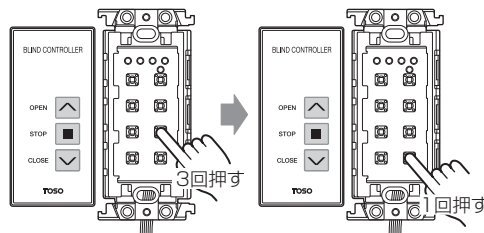


- ⑤ OPENボタンまたはCLOSEボタンを押して、下限リミットに設定したい位置まで昇降させてください。

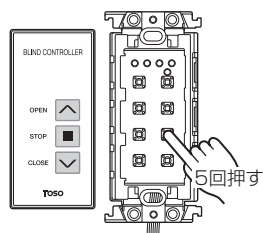
※リミット設定モード中はボタンを押している間のみ昇降します。(動作保持はされません。)



- ⑥ STOPボタンを3回、CLOSEボタンを1回押すと、下限リミットが設定されます。設定される際のサインとして、コントロールユニットの異常ランプ(緑)が消灯します。また同時に、上昇動作→下降動作(5cm程度)を行います。



- ⑦ STOPボタンを5回押す(または10秒間放置する)と、コントロールユニットの電源ランプ(赤)、異常ランプ(緑)が3回点滅し(リミット設定モードが終了)、電源ランプ(赤)が点灯状態(通常モード)になります。



■ 機能設定スイッチ

- 各種機能およびアドレス設定を行うためのスイッチです。

DIP	機能設定内容		OFF	ON
1	モーター位置	RB仕様	右モーター	左モーター
		RS仕様	左モーター	右モーター
2	製品選択		—	エンコーダ
3	接点スイッチ仕様		3つボタン仕様	2つボタン仕様
4	—		—	—
5	アドレス設定		0	1
6			0	2
7			0	4
8			0	8

※ DIP1：本製品では「RS仕様」として設定します。
製品を正面から見た場合のモーター位置を指定します。

※ DIP2：本製品では「ON」に設定します。

※ DIP3：接点スイッチのみ、3つボタン、2つボタン操作の選択が可能です。2つボタン操作の場合は、保持なし(押下時のみ動作)となります。

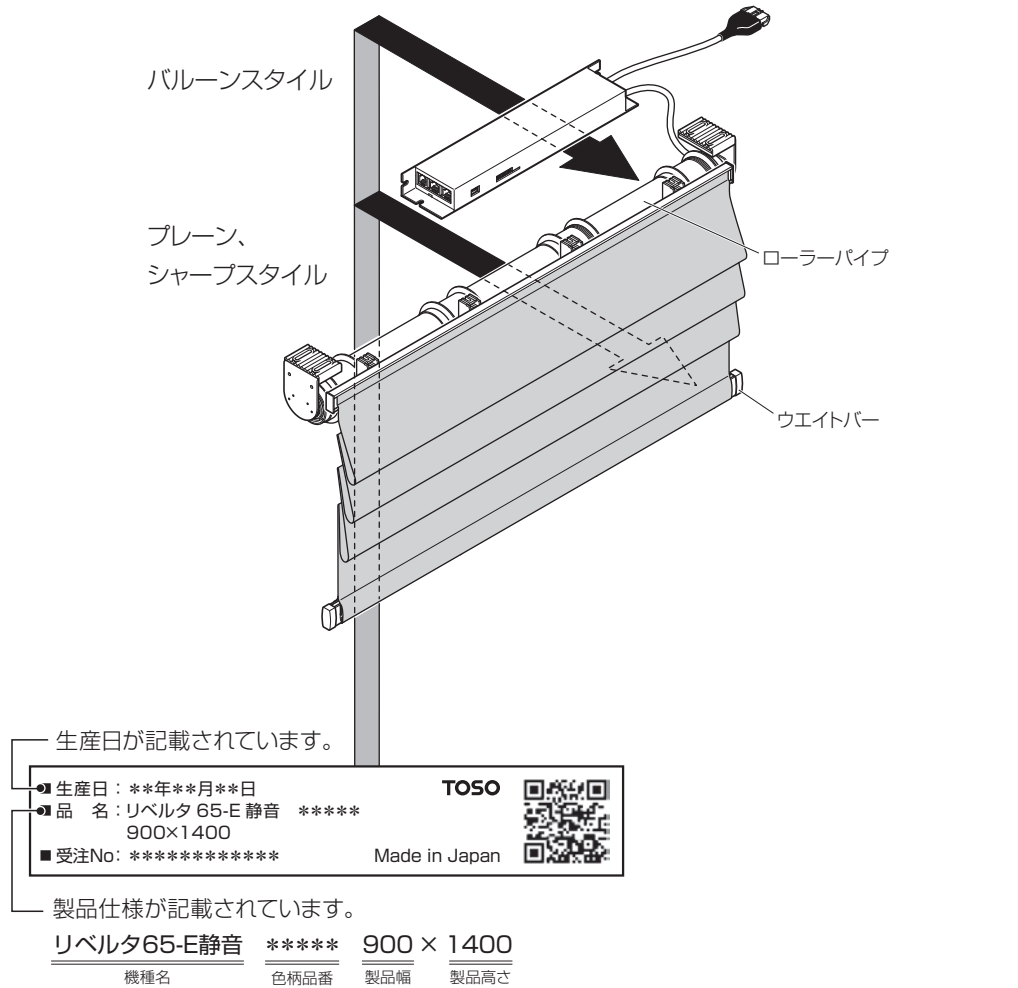
- アドレス設定方法（設定可能範囲：1～15）

アドレス No.	スイッチ設定状態				アドレス No.	スイッチ設定状態			
	1	2	3	4	5	6	7	8	
1	ON				ON				9
2	ON					ON			10
3	ON				ON	ON			11
4	ON						ON		12
5	ON				ON		ON		13
6	ON					ON	ON		14
7	ON				ON	ON	ON		15
8	ON							ON	

※ 出荷時は、アドレスNo.1に設定されています。

メンテナンスシール

●お買い上げの製品には、ウエイトバー又はローラーパイプに製品情報を記載したメンテナンスシールを貼付しております。製品に関するお問い合わせや修理等の際にこのメンテナンスシールをご確認ください。



●メンテナンスシールにQRコードが印刷されている場合は、QRコード対応の携帯電話で撮影すると携帯サイトにアクセスでき、製品情報を入手することができます。

※シール設置場所・QRコードへの汚れ・破損などにより、読み取れない場合もございますのでご注意ください。

“故障かな”と思ったら

■故障と思われる前に次の点検をお願いします。

現象	考えられる原因と処置
作動しない (Nシングルスイッチ、ゾーンスイッチ、マルチゾーンスイッチを使用している場合)	●電源が入っていない。 ⇒製品本体にAC100Vを接続の上、コントロールユニットの電源ランプ(赤)が点灯していることを確認してください。
作動しない (3つボタンスイッチを使用している場合)	●電源が入っていない。 ⇒製品本体にAC100Vを接続の上、コントロールユニットの電源ランプ(赤)が点灯していることを確認してください。 ●端子台付LANコードとスイッチが接続されていない。 ⇒P.20「結線方法」に従って、端子台付LANコードとスイッチを接続してください。
作動しない (赤外線リモコンを使用している場合)	●リモコン送信機に電池が入っていない。 ⇒電池を入れてください。 ●リモコン受光部が接続されていない。 ⇒P.16「配線方法」に従ってリモコン受光部を接続してください。 ●リモコンのアドレス番号とコントローラのアドレス設定番号が異なっている。 ⇒P.27「アドレス設定方法」に従ってアドレス設定番号を設定してください。
作動しない (FMリモコンを使用している場合)	●モジュラーコードとFMリモコン受信機2.4G-IRが接続されていない。 ⇒P.16「配線方法」に従ってモジュラーコードとFMリモコン受信機2.4G-IRを接続してください。 ●リモコンのアドレス番号とFMリモコン受信機2.4G-IRのアドレス設定番号が異なっている。 ⇒FMリモコン受信機2.4G-IRの取扱説明書P.9「アドレス番号の登録」に従ってアドレス設定番号を設定してください。
作動しない (コントローラの電源ランプと異常ランプが点滅している)	●過熱防止タイマーが働いている為、強制的に作動が停止されている。 ⇒しばらく待っていただくと作動できるようになります。

製品仕様

■リベルタ65-E静音 モーター仕様

	リベルタ65-E静音	
定格電圧	AC100V	
電源周波数	50Hz	60Hz
定格電流	1.1A	
消費電力	83W(待機時1W以下)	
回転数	26.9rpm	
定格トルク	3Nm	
使用周囲温度	0～50℃	
時間定格	5分	

■リベルタ65-E静音 コントローラー仕様

定格電圧		AC100V
操作電圧	Nシングル等	DC12V
	3つボタン	DC12V
操作電流	Nシングル等	2mA以下
	3つボタン	6mA
使用周囲温度		0～50℃(結露なきこと)

お手入れ方法

- 製品の汚れはきれいなやわらかい布で拭きしてください。
- 直接水をかけたり、シンナー等で拭いたり薬品等で洗淨しないでください。故障、変色、変形の原因になります。

梱包材の処理方法

- 梱包材は取付け場所に残さないようにしてください。
- 梱包材は可燃ゴミと不燃ゴミに分別して処分してください。
- 各自治体により分別規準が異なりますので、それぞれの自治体の規定に従って処理してください。

製品保証書

この度は、弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。当製品は、厳密な品質管理のもとお届けしておりますが、万一、保証期間内に故障した場合には、アフターサポート規定に基づき修理をさせていただきます。

保証期間：お買い上げ日より3年間

アフターサポート規定

- 取扱説明書・本体注意ラベル・タグにしたがった正常な使用状態で保証期間内に故障した場合は、無料で修理させていただきます。但し、スクリーン、スラット部は対象外です。また、弊社が指定する消耗部品(コード類)の無料修理サービスはお買い上げから1年以内とさせていただきます。無料修理サービスをご依頼になる場合は、メンテナンスシールをご確認のうえ、お買い上げの販売店へご依頼ください。転居などにより、お買い上げいただいた販売店が不明な場合は、弊社お客様相談室へお問い合わせください。
- 保証期間内でも次の場合は有料修理サービスとなります。
 - (イ) 本書の提示が無い場合。
 - (ロ) お買い上げ後の輸送、落下などによる故障、損傷。
 - (ハ) 使用上の誤り、又は不当な修理や改造もしくは、純正部品以外の使用による故障、損傷。
 - (ニ) 火災・地震・雷・風水害その他天災地変など、外部要因による故障及び損傷。
 - (ホ) 特殊環境(強度の湿気、塩害、薬品のガス、公害)による故障及び損傷。
 - (ヘ) お買い上げ後の取付け場所の移動による故障及び損傷。
 - (ト) 当社カタログに記載している仕様以外の製品についての故障及び損傷。
- 本書は、日本国内においてのみ有効です。

トーソー株式会社

本社 〒104-0033 東京都中央区新川1-4-9